

---

?SkyGarden

kannagi

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

? Sky Garden

### 【Nコード】

N5541Y

### 【作者名】

kannagi

### 【あらすじ】

VRMMORPGのSkygarden・主人公、nagiはそのゲームを手にした。

楽しんでいると突如、ログイン不可能の文字が

。

典型的なログアウト不可能ものです。主人公は主人公でした。よ

ろしくいお願いします。

## 1\*Abater(前書き)

拙い文ですが、よろしくお願ひします。

## 1\*Abater

VRMMORPG。簡単に言ってしまうえば、仮想現実没入型オンラインゲーム。

無限大の武器にスキル、不思議な魔法に大規模戦闘。

好みの外装アバターを作り、職ジョブに就き、クエストをクリアし、最後には物語をクリアする。

壁に徹したり、アタッカーになったり。

支援をしながら攻撃とか隠密とかド派手な一撃必殺。

夢のような世界に、心を惹かれる人は少なからずいるだろう。

そう。

ついに実現したのだ。 皆が待ち憧れていた、夢のような世界が

日曜日

05時00分 自宅

ピピピピピピとけたたましく鳴り響く音を聴いて、それは身を起す。

「ん……、朝かー……」

黒目にセミロングよりも少し長い黒髪。

顔はかなり整っているが、雰囲気も相まってか今は普通、としかとれない。

ケータイのロックを外すと、止める、と描かれた場所を連打する。するとピピピとなっていた音は止み、部屋には静寂が戻った。

「……あー……」

ふと思い出す。

今日はskygardenの発売日じゃないか。

立ち上がり、眼鏡をかけ、寝間着から部屋着に着替える。そしてリビングへ。

「お早う、風」

「おはよー……」

リビングには父親と家事ロボット。

椅子を引いて座ると、家事ロボットは珈琲を淹れていた。少しするとその珈琲を渡されたので、ミルクと砂糖をたっぷり入

れる、テレビに目を写す。

『 で、あるからして、新種と言えるこのVRMMO、skygardenの技術。初期の頃これは軍事や医療技術として登場したのですが、更なる技術の発展系として 』

ぼーっと。その目線の先にはニュース。  
今日稼働するというVRMMO、skygardenの口ト。

1年ほど前に突然登場してきたゲーム会社、“Hawk@N”。  
1か月に1本という怪物のようなペースでゲームを発売し、そのすべてが大ヒット。  
「これだけで10年は遊べる！」という人すら出てくるレベルである。

その“Hawk@N”が専用ソフトとハードを同時発表、それも最先端軍事技術のVR系、VRMMORPGというとてつもないジャンルを切り開いてきたのだ。

発表された日からちょうど1週間。公式HPが公開された。  
そこに書いてあるのはただ、一言。

『新しい世界を楽しみにしてください』

ジャンルも何も書いて無く、ただ白いページに水色の文字でその

一言という、いたってシンプルどころの話ではない、企業が作ったとは思えない、個人のページにすら劣るページ。

ソースを見てもそれしか書いて無い、ドメインは公式。ハッキン  
グされたとの発表なんて無い。

つまり、公式HPなのだ。 正真正銘の。

雑誌は大いに盛り上がり、巨大掲示板ではいたるところでスレ  
ドが乱立し、つぶやくことが主なサイトではハツシユタグが何十種  
類と。

とある人は国の陰謀だと叫び、神が作られたのだ！と言い出す人  
すらも。

様々な憶測が飛び交うも、すべてが不明。 そんなオンラインゲー  
ム。

ハードは1週間前ほどにすでに発売されており、その時には数十  
万台という危機が一瞬にして吹き飛んだという。

そして今日。 専用ソフトが発売される。

1日前などに発売してしまう場所等で買ったという人がネットに  
書き込んで居たが、先にインストールしようとしても、インストー  
ルできませんと言われるのだとか。

「ご馳走様、と早口に言うつと部屋に上がり、とある扉を開く。

そこには。 銀色の下地に青の線が入ったパッケージの中心には、“H a w k @ N”のロゴが。

そしてその下に小さく、V R用汎用デバイス“A G E”の文字が。

その汎用デバイス A G Eの箱を手に取ると、机へ。

慣れた手つきで開けた箱の中には手首まである手袋と、何とも言えない眼鏡のような“デバイス”が。

デバイスの一部を押すと、無線マウスがよく使うようなi c hくらしいのU S Bデバイスが出てくる。

それをP Cに挿し、P CのパワーをO Nにする。

ウイン、と小さい音を立てて起動し始めるP Cを無視し、手袋を探ると、中からまたU S Bデバイスのようなものが出てくる。

それをA G Eのデバイス、無線マウス用のデバイスみたいなものが入っていたところにまた挿す。

するとP Cの画面には、“汎用デバイス“A G E”を認識しました。 仮想O S、A G Eに権利をコピーします”と文字列が。

パパパパとフラッシュのように移り変わる画面を余所に、手首の中間くらいまでであるその手袋を両手に装着。こちらにもスイッチを押してパワーをO Nに。

チカチカ発光ダイオードが光るA G Eデバイス、そのサイドに設置されている緑色のランプが両方ともついたのを確認して、手袋を装着。

キュツと音が鳴る手袋。少し、テンションが上がった。

PCの画面には『テスト開始まで待機中… デバイスを装着した後、仮想デバイス内ウィンドウをタッチしてください』との文字が。手袋を両手に装着し、眼鏡を外して、AGEデバイスを装着。

目の前には数個のウィンドウが。

『新しいアプリケーション：? Sky Garden インストール  
しますか? 『YES』 / 『NO』』

『新しいアプリケーション：Sky Garden - アバターエ  
ディター - インストールしますか? 『YES』 / 『NO』』

『新しいメールが届いています：1枚』

『アプリケーションの更新：EnGlation+\* (win)  
COD MW5 (win)』

優先的に表示されていた2枚のウィンドウを最小化すると、残り  
のウィンドウはかき消した。

そして最小化したのを戻し、そこに書いてある内容を慎重に、見  
ながら進める。

『? Sky Garden : 【!】このアプリケーションは現実と  
の区別がつかなくなる恐れがあります。【!】年齢制限「18歳以  
下禁止」【!】このアプリケーションは常時インターネットに接続  
します。』

『Sky Garden - アバターエディター - 【!】このアプ  
リケーションは? Sky Garden 専用のもとなります。そ  
れ以外のアプリケーションでは使用できません。【!】このアプリ  
ケーションはAGE内データを使用します。』

AGEの警告などすべて無視、OKやYESを連打連打連打。

ちなみに、今は朝の6時。電気屋がオープンするまで、早くてあと3時間。

何故こんなにも早く手に入れてるかという。親がゲーム屋なのだ、自営業の。

なので少しだけ早く、譲ってもらった。昨日のうちに。

……お金は、普通よりも少し多めに取られたけど。

そんなことも気にせずインストールして早5分、AGEはテローン！と、爽快な音を出してインストール完了を告げる。

テンションあがってきた。あがってきたあがってきた！！！  
がたがたと揺れながらもウィンドウを開き、アバターエディターを起動、シリアルナンバーを手袋でスキャンして、起動。

ふわり、という感覚と同時に圧迫感。  
ぐぐぐ、とだんだん強くなっていく圧迫感に耐えると、突如スツと圧迫感は消え。

目の前にウィンドウと言葉、そして圧倒的なほどに現実に近い感覚。

Welcome. Here is the software  
used to customize your avatar  
in Sky Garden. Will start with  
the tutorial?

ようこそ！　ここはSky Garden内で使用されるアバターをカスタマイズするためのソフトです。チュートリアルを起動しますか？　『YES』 / 『NO』

いろんな意味で理性吹っ飛んだ。わかった、めちゃくちゃ楽しい。なにこれ、おかしいつて！……最高だよ！

ということでチュートリアルとやらを起動。

『Sky Gardenアバターエディターへようこそ！　私の名前はジェネシス。AIです。そしてSky Gardenの管理者であり、ゲームマスターです。今回は、このアバターエディターでのガイドを務めさせていただきます、宜しくお願い致します』

『まずは基本操作から。基本形はあなたが記憶されているご自身の姿を元に致します。よろしいですか？』

選択肢が出てきたので迷いなくYESを押し、ジェネシスさんとやらに記憶を読み取ってもらう。

どんな記憶になるのかな。

『　　スキャン完了しました。表示します』

ピー、と小さく音を立てて表示されたのは、自分の全裸。特に見て恥ずかしい体はしてないが、不覚にもびっくりした。

『補正をかけますので少々お待ちください　完了。　これがカスタマイズ前のあなたの肉体です。　ここから貴方自身を改造します』

そういつてジェネシスはぐるり、とこの世界の視界を回す。

次に現れたのは下着を付けた自分と、数々のウィンドウ。一目見てこれからいろいろと改造するのがすぐに分かった。

背景は白。光に包まれるといったほうが正しいか。腕を横にまっすぐ広げ、足は垂直に。よく見る3Dポリゴンの制作風景と似ていた。

『これからがあなたの腕の見せ所です。右のパラメーターで身長や体重変更、誤差としては体重5kg以内、身長は5cm以内で可能です。』

『左に映りませんが整形の設定です。それぞれのツールには自動的に補正が入りますので、あまりにも常人離れしたりなどはできません』

『右下に映りますは種族と仮装備です。種族によって鱗が出たり耳が長くなったり、身体的特徴が多々出てきますので一度ご覧になられてください。』

そして仮装備はその名の通り、プレビュー用の装備を試着することができません。装備の出現ポイントや装備可能レベルなども書いてありますので、こちらは是非ご一読ください』

『一通りの説明は以上です。何か不明な点など御座いますでしょうか？ 無いみたいですね。では失礼します、良きSkygardenライフを。』

……マシンガントーク。さすがとしか言えない。でも大体解った。

さて、頑張ろうか！

手始めに髪の毛の色を赤に。そして綺麗に、イケメンに。……  
思い通りに形が作れるなあ。これも補正？のおかげってことかな。  
補正大事だよ、かなり大事だよこれ。

で。少し脚を細くして、あ、指は長いほうが良いよね。ああ  
！そっだよ髪の毛を長くするのを忘れていた！  
腰くらいでいいかなあ……いや、どうせゲーム内でも切れるしせっ  
かくだからふくらはぎくらいにしてみよう。

そっだ、ついでだからこっちも変えとこつかなあ、あ、身長も少  
し高くしてしまおう。あと爪の形も整えとこつ、あっちも少しい  
じらないとな。あと。

\* \* \* \* \*

できた。たぶん、今までの中で最高。多々MMOをやっ  
てきても、最高の出来と断言できる。

2時間もかけた、この世で1つしかない自分。

高い身長に紅い、足まである髪の毛はクセの無いストレート。  
指は細く、気持ちよさそうなくらい柔らかそうに。

鼻はスツと通っており、上にある眼はくつきり二重。無駄のな  
い、しなやかかつ曲線がとてもきれいに整った四肢。

理想だ。うん、完全に理想だ矢たちの。

現実での自分の身長は170くらい。 …… 175くらいにしたかったんだ。有難う。

装備は30レベルくらいにあるベルトがたくさんついている服が合つてとつても格好良かった。

そして種族。これに関してなんだけれど自分はハイエルフにしようかと思つてる。 エルフの上位互換。

理由としては自分はガンナーという職業に付こうと思つたのです。弾薬はお金かかるらしいし武器メンテナンスも難しいらしいし、何よりガンナー自体難しい職らしいけど。 …… ロマンつて、大事だよ。

人間よりも器用、背が高くても問題ない、素晴らしいと思います。長い耳もきれいだし。

ちよつとネックだと思つたのが、エルフやハイエルフは魔法職ということ。器用さや上がる数値的にはドワーフやノームといった種族が良いらしいんだけど…… 大丈夫、でしょ。

『これらのアバターデータを外部デバイス、AGEに保存しますか？ 『YES』 『NO』』

迷わずYESを選択。 名前はSkygarden - アバター、とだけにしといた。 分かりにくくても困るしね。

ということでアバターを出力完了。 時刻は 9時30分。 もうそんな時間が、サーバーオープン時間は日本基準で朝の10時。

……ログインしなくては！

## 1\* Abater (後書き)

1 1 / 1 9 2 : 4 9 「サブタイトル変更 1\* LOGIN

1\* Abater」 「本文追加」

1 1 / 2 1 2 2 : 4 2 「本文追加」 「誤字、表現修正」

1 1 / 2 7 5 : 0 8 「本文追加」 「誤字、表現修正」 「新

章移動」

## 2\*LogiK(前書き)

やっこのこと2章。 やつとゲームにログインしますよ！ 駄文で  
すが、よろしくお願ひします！

## 2\*Login

ログアウト、と言うとウィンドウが出てきて、アバターエディターはログアウトするかどうかを聞いてくる。迷わずYESを押し、しばらく待つ。

すると、圧迫感などなかったかのようにするり、と意識が抜ける。そして次に目に入るはAGEのデスクトップ。メイン画面。そこに佇むようにある、Skygardenのアイコン。葉っぱと海をモチーフにしたというその盾は、

『?SkyGardenを起動します。このソフトは完全没入形式の五感体感型ゲームです。現実との区別がなくなる恐れがあります。このゲームは仮想では感覚に対して60%、90%カットまで設定することができます。強い痛み、違和感などを感じましたら早急にログアウト後、医者<sup>ルタイル</sup>の診断を受けてください。』

『Loading...ok Datecheck...ok  
drivecheck...ok all-ok。』

『ダイブ3秒前...2秒前...1秒前...行っ<sup>ッ</sup>てらっしや  
いませ、良きゲームライフになりますことを。』

カウントダウンが終了し、ぐぐぐと、アバターエディターをした時よりも限りなく強い圧迫感。

潰れてしまつのではないかという懸念とともに、自分は意識を手放す。  
ああ。楽しみだ。

\* - \* - \* - \*

「…はっ  
」

無意識に出た言葉はふと、気が付いたような謎の感覚。寝起き、というよりも気づいたらここに居た、みたいな感じである。  
そしてココはどこだ、と、頭を上げ

「うわ……!!」

ポツリ、ポツリと。同じ言葉を繰り返しては、あたりをきよろきよろ見渡す。

そこに有るのは 透き通るなんておこがましい、足りないさすぎるほどに澄み切った青空。そして、背後に流れるのは何も見えないといつても過言じゃないほどに透き通った川。

あたりにあるのは草と、この台座と、建物。そして、道。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5541y/>

---

?SkyGarden

2011年11月27日07時00分発行